

令和3年度事業報告

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

新型コロナウイルスが初めて報告されて以来、3年目となる現在も感染症は世界的に猛威を振るっています。国内では3月末時点で累計約600万人を超える感染数が確認され、また新たな変異株の発症拡大など未曾有の危機に見舞われ、国内でも雇用情勢をはじめ経済活動は甚大な影響を受けています。

このような中、当センターの運営においても当初から感染症対策を講じ社会情勢の変化を確認しながら進めて参りましたが、あらゆる方面で影響を受けたことは例外ではありませんでした。

会員の増強面においては昨年度に引き続き会員拡大キャンペーンに参画して入会希望者説明会を追加開催し、当センター広報誌等でも積極的にPR活動を行いました。前回ほどの入会者が増えず正会員数は昨年度より13名減少し463名となりました。一方退会された方は総数の約5割の26名がご家族の介護やご本人の病気を理由としており、組織全体的な会員の高齢化や感染症の影響など懸念される状態が続いています。

また事業実績の請負業務及び派遣業務では約950万円増加し対前年比104.6%となったものの、前年度は緊急事態宣言の発出等により公共施設の利用時間や利用人数の制限、さらには民間企業における業務量の減少等により、就業実績は一昨年より低下していたので多少の持ち直しの兆しが見え始めているものの、厳しい状況が続いています。

普及啓発や就業機会の拡大を目的として計画していた第2回シルバー人材センターまつりや、除草機械取扱い講習会、接遇講習会及び交通安全講習会については開催中止や開催方法を変更するなど、新たな事業展開を試みながら取り組んで参りました。

運営基盤の強化については感染症の影響により縮小、減少した収入を補えるよう支出経費を抑制することと併せ、事務量が増加する派遣事業に適正に対応するため事務局組織体制の強化に取り組みしました。

会員の皆様のご協力と市、関係機関、民間企業並びに市民の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。ここに令和3年度の事業計画に基づいた事業が終了しましたのでご報告申し上げます。

令和3年度基本方針

- (1) 第3期事業推進5カ年計画の推進
- (2) 会員の入会促進と退会抑制
- (3) 適正な就業機会の確保・開拓と全会員への公平な提供
- (4) 安全就業の徹底
- (5) 普及啓発活動の実施
- (6) 運営基盤の強化

令和3年度実施報告

- (1) 第3期事業推進5カ年計画の推進
 - 1、第3期事業推進5カ年計画に基づき計画を推進するために理事会を開催しました。
(表1-1)

2、第3期事業推進5カ年計画による目標値に対する実績は新型コロナウイルス感染の影響が多く、全ての項目において達成することが出来ませんでした。（表1-2）

（表1-1）

理事会	開催日	協議事項
第1回	4月28日(水)	1) 正会員入会の承認について 2) 賛助会員入会の承認について 3) 特別会員入会の承認について 4) 令和2年度収支補正予算の承認について 5) 第48回定時総会について 6) 定款の変更について
第2回	5月24日(月)	1) 正会員入会の承認について 2) 特別会員入会の承認について 3) 令和2年度収支補正予算の承認について 4) 令和2年度事業報告の承認について 5) 令和2年度収支決算の承認について 6) 理事候補者の選考について 7) 第48回定時総会について
第3回	6月29日(火)	1) 正会員入会の承認について
第4回	7月29日(木)	1) 正会員入会の承認について 2) シルバーの日清掃ボランティア活動について 3) シルバー人材センター会費無料キャンペーンについて
第5回	8月30日(月)	1) 正会員入会の承認について 2) シルバーの日清掃ボランティア活動について 3) 事務職職員の募集について
第6回	9月29日(水)	1) 正会員入退会状況について 2) 埼玉県最低賃金改正に係るセンター配分金の対応について 3) 令和3年度収支補正予算の承認について 4) 事務局職員の募集について
第7回	10月28日(木)	1) 正会員入会の承認について 2) 賛助会員入会の承認について
第8回	11月26日(金)	1) 正会員入退会状況について 2) 賛助会員入会の承認について 3) 令和3年度職員採用試験第二次試験の担当選任について
第9回	12月17日(金)	1) 正会員入会の承認について 2) 個人情報保護規程の改正について 3) 令和3年度職員採用試験の結果及び選考について 4) 役員・事務局長合同研修の開催について

第10回	1月27日(木)	1) 正会員入会の承認について
第11回	2月24日(月)	1) 正会員入会の承認について 2) 役員賠償責任保険加入の承認について 3) インボイス制度について
第12回	3月25日(金)	1) 正会員入会の承認について 2) 賛助会員入会の承認について 3) 令和4年度事業計画の承認について 4) 令和4年度収支予算の承認について

(表1-2)

項目	目標値	実績	達成率
会員数(正会員)	497人	463人	93.2%
就業率	90.0%	87.9%	97.7%
就業延べ人員	61,615人日	57,627人日	93.5%
受託件数	1,558件	1,543件	99.0%
契約金額	219,600千円	215,856千円	98.3%

(2) 会員の入会促進と退会抑制

- 1、毎月1回、入会希望者説明会を開催したところ85名が出席され、その内54名(入会率:63.5%)が入会されました。また連合主催の会員拡大キャンペーンに参画し対象月である令和4年1月から3月については、各月1回追加説明会を開催し入会促進に取り組みました。
- 2、正会員を退会される方に対し賛助会員への登録を勧誘し退会抑制に取り組みました。

(3) 適正な就業機会の確保・開拓及び全会員への公平な提供

- 1、派遣事業の実施に取り組みました。(表3-1及び別添派遣事業実績)
- 2、就業機会開拓創出員の活動報告に基づき、新規受注の獲得に向け理事及び事業部会による企業訪問や行政訪問を実施しました。(表3-2)
- 3、事務局だより及びホームページに仕事情報を掲載し公平な仕事の提供に努めました。
- 4、就業の基準に関する要綱に基づきワークシェアリングに取り組みました。また未就業会員相談会を開催し、会員の住所や交通手段及び希望職種に応じた就業情報や独自事業等の提供に努めました。(表3-3)
- 5、独自事業を実施しました。(表3-4)
- 6、有料職業紹介責任者を配置し受注に対し整備しました。(有料職業紹介事業の実績はありません)

(表3-1)

派遣先	就業会員	就業延べ人員	事業実績
環境センター	13人	732人日	2,569,864円
第1保育所	2人	242人日	1,520,992円

第2保育所	2人	242人日	1,531,200円
民間業務(3社)	5人	599人日	4,185,186円
合計	22人	1,815人日	9,807,242円

(表3-2)

担当	訪問件数	ホスティング件数	備考
開拓員活動	59件	7,085件	
理事・事業部会	17件	—	他行政訪問

(表3-3)

項目	開催回数	参加人数	就業(交替)人数
就業説明会 及び面接会	4回	延べ30名	24名 (内再就業 8名)
未就業相談会	12回	延べ 5名	4名

(表3-4)

事業名	回数	就業延べ人員	契約金 (参加人員等)
パソコン教室	11回	54人日	62,700円 (19人)
野菜販売事業	12回	50人日	596,775円
シルバー農園事業	12回	353人日	180,301円
包丁研ぎ事業	3回	8人日	19,950円
合計		465人日	859,726円

(4) 安全就業の徹底

- 1、安全管理委員会を開催し傷害事故及び賠償事故の事故検証を行い再発防止策の樹立に取り組むと共に、会員の就業中及び就業途上における事故を防止にするため、巡回指導を延べ13件実施し会員の安全意識の高揚に努めました。
- 2、会員の安全就業と健康管理の維持を目的に、時期に応じた病気の予防策や害虫対策及び個々に実施する新型コロナウイルス感染防止策を事務局だよりに掲載し注意喚起に取り組みました。なお令和3年度は就業先への往復途上の転倒事故や就業中の蜂刺されによる傷害事故が発生し、また賠償事故では鍵の紛失や電気コードの切断など4件の保険適用事故が発生してしまいました。(表4-1)
- 3、事務局窓口や広報誌等において安全就業スローガン「安全は 常日頃の 意識から」を掲載し安全就業に取り組みました。

(表4-1)

分類	件数	備考
傷害保険適用事故	6件	就業途上の転倒事故、蜂さされ等
賠償保険適用事故	4件	預かり品(鍵)の紛失、電線コードの切断等
合計	10件	

(5) 普及啓発活動の実施

- 1、広報誌「シルバーよしかわ」を年2回(第54号、第55号)発行し市内全世帯へ配布し普及啓発に取り組みました。
- 2、第2回シルバー人材センターまつり及び街頭PR活動については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。
- 3、普及啓発活動の一環としてあいあい傘事業、清掃奉仕活動及び児童見守り活動を実施しました。なお施設慰問活動については新型コロナウイルス感染対策として受け入れ側施設の制限により実施していません。(表5-1)

(表5-1)

内容	回数	参加延べ人員	備考
あいあい傘事業	173回	173人日	実績86,500円
公共施設清掃活動	3回	19人日	感染症防止の為、回数減
施設慰問活動	0回	0人日	感染症防止の為
児童見守り活動	47回	79人日	
合計	223回	271人日	

(6) 運営基盤の強化

持続的な財政運営基盤の確立を目的として次の通り取り組みました。

- 1、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市イベントなどの開催有無を基準に、主催する事業等の開催を判断した結果、経費の抑制が図れました。
- 2、派遣事業等の増加する事務量に対し令和4年度職員採用による事務局体制強化及び経費の削減に取り組みました。
- 3、派遣事業量により決定する国庫補助を継続的に確保できるよう適正就業と併せ契約の切り替えに取り組みました。